

社会福祉学研究科

研究指導概要

博士前期課程・修士課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。
- ・中間報告会への出席。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成の指導を受ける。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・研究テーマに関連した研究課題や研究方法についてプレゼンテーションと討論を経験させ、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。
- ・中間報告会での報告。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、文献研究を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究成果のとりまとめを行う。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。
- ・中間報告会での報告。

4 セメスタ

- ・修士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、修士学位論文にまとめる。

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

中間報告会（論文発表会）の開催時期や、報告の形式および配付資料の準備等、報告会の詳細は入学時ガイドンスまたは授業期間中に周知する。

博士前期課程在籍者は、学年等の如何を問わず報告を聞くことが可能なので、積極的に参加することが望ましい。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。
- ・中間報告会への出席もしくは発表。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成の指導を受ける。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・研究テーマに関連した研究課題や研究方法についてプレゼンテーションと討論を経験し、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。
- ・中間報告会への出席もしくは発表。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、文献研究を行い、研究方法の妥当性を検証する。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。
- ・中間報告会への出席もしくは発表。

4 セメスタ

- ・収集した研究データ（量的、質的、文献資料）の分析を行い、研究結果を整理する。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。
- ・中間報告会への出席もしくは発表。

5 セメスタ

- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。
- ・研究結果について、多角的な考察を展開し、博士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、博士学位論文にまとめる。
- ・中間報告会での発表。

6 セメスタ

- ・論文についての精査を行って、推敲を繰り返した上で提出する。
- ・口述試験への準備を開始する。

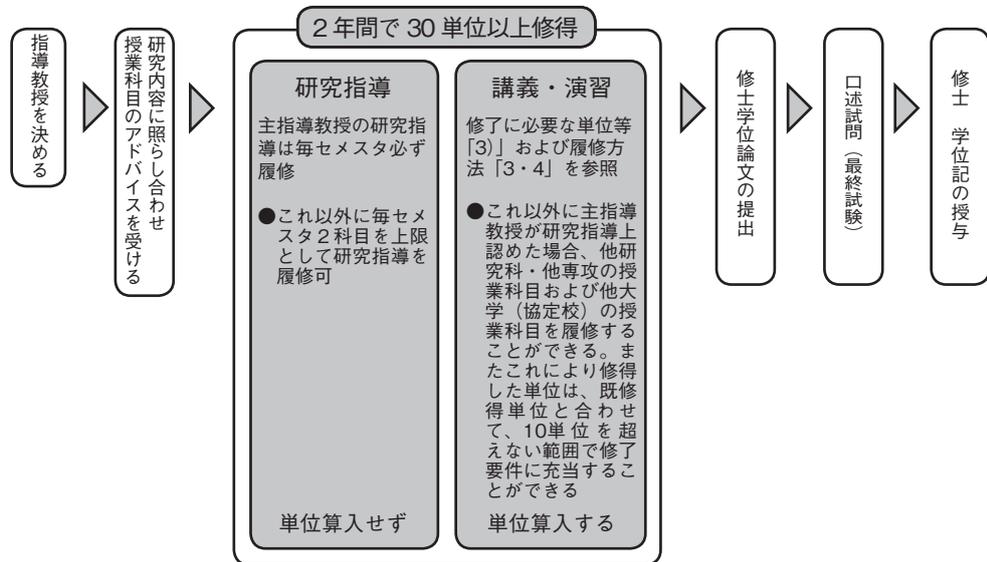
2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

中間報告会での報告が博士論文の提出要件となっているため、在学者は全員、必ず現在の状況に即して専攻で定められた中間報告会で報告すること。中間報告会の開催時期や、報告の形式および配付資料の準備等、報告会に関わる詳細は入学時ガイダンスまたは授業期間中に周知する。

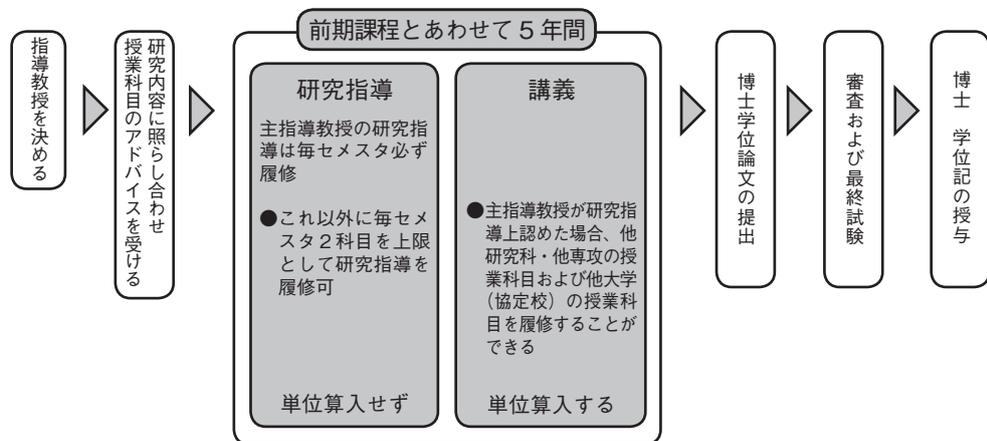
審査終了時までに博士学位論文提出者による公聴会を開催する。

社会福祉学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



※本専攻では、授業内容の理解や自身の研究を一層深めるために、授業及び研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

社会福祉学専攻

博士前期課程

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単位	組 ナパリング	学期	講義・ 演習の別	職名	担当教員	備考
共通	社会福祉基礎特論Ⅰ	研究基礎論	2	SWS601	春	講義	教授	秋元美世	必修科目
	社会福祉基礎特論Ⅱ	研究方法論A(史的データの分析)	2	SWS602	秋	講義	教授	金子光一	
	社会福祉基礎特論Ⅲ	研究方法論B(量的データの分析)	2	SWS603	春	講義	非常勤講師	小澤温	
	社会福祉基礎特論Ⅳ	研究方法論C(質的データの分析)	2	SWS604	春	講義	教授	志村健一	
	社会福祉実務演習A	インターンシップ	2	CIV601	春	演習	教授	加山弾	
	社会福祉実務演習B	インターンシップ	2	CIV602	秋	演習	教授	加山弾	
研究領域 ソーシャルポリシー・アドミニストレーション(SPA)	S P A 特論Ⅰ A	社会福祉史論	2	SWS607	春	講義	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅠAと共通
	S P A 特論Ⅰ B	社会福祉史論	2	SWS608	秋	講義	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅠBと共通
	S P A 特論Ⅱ A	社会福祉の人権と政策論	2	SWS609	春	講義	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅡAと共通
	S P A 特論Ⅱ B	社会福祉の人権と政策論	2	SWS610	秋	講義	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅡBと共通
	S P A 特論Ⅲ A	社会福祉の政策形成と立法論	2	SWS611	春	講義	教授	伊奈川秀和	社会福祉学研究指導ⅢAと共通
	S P A 特論Ⅲ B	社会福祉の政策形成と立法論	2	SWS612	秋	講義	教授	伊奈川秀和	社会福祉学研究指導ⅢBと共通
	S P A 特論Ⅳ A	地域福祉活動・計画論	2	SWS613	春	講義	教授	加山弾	社会福祉学研究指導ⅣAと共通
	S P A 特論Ⅳ B	地域福祉活動・計画論	2	SWS614	秋	講義	教授	加山弾	社会福祉学研究指導ⅣBと共通
	S P A 特論Ⅴ A	貧困と社会的排除	2	SWS615	秋	講義	非常勤講師	後藤玲子	
	S P A 特論Ⅴ B	貧困と社会的排除	2	SWS616	秋	講義	非常勤講師	後藤玲子	
	S P A 特論Ⅵ A	高齢者の権利と政策論	2	SWS617	春	講義	非常勤講師	山田知子	
	S P A 特論Ⅵ B	高齢者の権利と政策論	2	SWS618	秋	講義	非常勤講師	山田知子	
	S P A 特論Ⅶ A	介護保障・ケアマネジメント	2	SWS619	春	講義	教授(兼任)	藤林慶子	
	S P A 特論Ⅶ B	介護保障・ケアマネジメント	2	SWS620	秋	講義	教授(兼任)	藤林慶子	
	S P A 特論Ⅷ A	東アジアの社会保障制度の現状と課題	2	SWS635	春	講義	非常勤講師	朱珉	隔年開講
	S P A 特論Ⅷ B	日本と東アジアの社会保障制度の比較研究	2	SWS636	秋	講義	非常勤講師	朱珉	隔年開講
研究領域 ソーシャルワーク(SW)	S W 特論Ⅰ A	ソーシャルワーク論	2	SWS621	春	講義	教授	志村健一	社会福祉学研究指導ⅥAと共通
	S W 特論Ⅰ B	ソーシャルワーク論	2	SWS622	秋	講義	教授	志村健一	社会福祉学研究指導ⅥBと共通
	S W 特論Ⅱ A	子どもの権利と支援論	2	SWS623	春	講義	教授	森田明美	社会福祉学研究指導ⅦAと共通
	S W 特論Ⅱ B	子どもの権利と支援論	2	SWS624	秋	講義	教授	森田明美	社会福祉学研究指導ⅦBと共通
	S W 特論Ⅲ A	障がい者の権利と支援論	2	SWS625	春	講義	非常勤講師	沖倉智美	
	S W 特論Ⅲ B	障がい者の権利と支援論	2	SWS626	秋	講義	非常勤講師	沖倉智美	
	S W 特論Ⅳ A	権利擁護とソーシャルワーク論	2	SWS627	春	講義	教授(兼任)	高山直樹	
	S W 特論Ⅳ B	権利擁護とソーシャルワーク論	2	SWS628	秋	講義	教授(兼任)	高山直樹	
	S W 特論Ⅴ A	高齢者の福祉と支援論	2	SWS629		講義			本年度休講(隔年開講)
	S W 特論Ⅴ B	高齢者の福祉と支援論	2	SWS630	春	講義	非常勤講師	和氣純子	隔年開講
	S W 特論Ⅵ A	国際ソーシャルワーク論	2	SWS631	春	講義	准教授(兼任)	荻野剛史	
	S W 特論Ⅵ B	国際ソーシャルワーク論	2	SWS632	秋	講義	准教授(兼任)	荻野剛史	
	S W 特論Ⅶ A	ソーシャルワーク実践論	2	SWS633	春	講義	准教授	佐藤亜樹	
	S W 特論Ⅶ B	ソーシャルワーク実践論	2	SWS634	秋	講義	准教授	佐藤亜樹	

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単位	組 ナンバリング	学期	講義・ 演習の別	職名	担当教員	備考
研究指導	社会福祉学研究指導ⅠA	社会福祉史論		REG601	春		教授	金子光一	
	社会福祉学研究指導ⅠB	社会福祉史論		REG602	秋		教授	金子光一	
	社会福祉学研究指導ⅡA	社会福祉の人権と政策論		REG603	春		教授	秋元美世	
	社会福祉学研究指導ⅡB	社会福祉の人権と政策論		REG604	秋		教授	秋元美世	
	社会福祉学研究指導ⅢA	社会福祉の政策形成と立法論		REG605	春		教授	伊奈川秀和	
	社会福祉学研究指導ⅢB	社会福祉の政策形成と立法論		REG606	秋		教授	伊奈川秀和	
	社会福祉学研究指導ⅣA	地域福祉活動・計画論		REG607	春		教授	加山 弾	
	社会福祉学研究指導ⅣB	地域福祉活動・計画論		REG608	秋		教授	加山 弾	
	社会福祉学研究指導ⅤA	子どもの権利と支援論		REG609	春		教授	森田明美	
	社会福祉学研究指導ⅤB	子どもの権利と支援論		REG610	秋		教授	森田明美	
	社会福祉学研究指導ⅥA	ソーシャルワーク論		REG611	春		教授	志村健一	
	社会福祉学研究指導ⅥB	ソーシャルワーク論		REG612	秋		教授	志村健一	

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
- 3) 共通科目
 - ①全体で2科目4単位以上修得すること。
 - ②必修科目1科目2単位を修得すること。
 - ③選択科目から1科目2単位以上修得すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目（主指導教授1名（必須）・副指導教授2名（任意）を上限として、履修・修得することができる。
3. 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
4. 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に取得した成績および単位のみとする。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、東洋大学大学院（以下「本大学院」という。）の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

博士後期課程

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	単位	相 ナソバ	学 期	講 義・ 演習の別	職 名	担当教員	備 考
研究領域	ソーシャルポリシー・アドミニストレーション(SPA)	S P A 研究 I A	社会福祉史研究	2	SWS701	春	講義	教授 金子 光 一	社会福祉学研究指導 I A と共通
		S P A 研究 I B	社会福祉史研究	2	SWS702	秋	講義	教授 金子 光 一	社会福祉学研究指導 I B と共通
		S P A 研究 II A	社会福祉の人権と政策研究	2	SWS703	春	講義	教授 秋 元 美 世	社会福祉学研究指導 II A と共通
		S P A 研究 II B	社会福祉の人権と政策研究	2	SWS704	秋	講義	教授 秋 元 美 世	社会福祉学研究指導 II B と共通
		S P A 研究 III A	社会福祉政策・立法研究	2	SWS705	春	講義	教授 伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導 III A と共通
		S P A 研究 III B	社会福祉政策・立法研究	2	SWS706	秋	講義	教授 伊奈川 秀 和	社会福祉学研究指導 III B と共通
		S P A 研究 IV A	地域福祉活動・計画研究	2	SWS707	春	講義	教授 加 山 弾	社会福祉学研究指導 IV A と共通
		S P A 研究 IV B	地域福祉活動・計画研究	2	SWS708	秋	講義	教授 加 山 弾	社会福祉学研究指導 IV B と共通
		S P A 研究 V A	社会的排除研究	2	SWS709	秋	講義	非常勤講師 後藤 玲 子	
		S P A 研究 V B	社会的排除研究	2	SWS710	秋	講義	非常勤講師 後藤 玲 子	
	ソーシャルワーク(SW)	S W 研究 I A	ソーシャルワーク研究	2	SWS711	春	講義	教授 志 村 健 一	社会福祉学研究指導 VI A と共通
		S W 研究 I B	ソーシャルワーク研究	2	SWS712	秋	講義	教授 志 村 健 一	社会福祉学研究指導 VI B と共通
		S W 研究 II A	子どもの権利と支援研究	2	SWS713	春	講義	教授 森 田 明 美	社会福祉学研究指導 V A と共通
		S W 研究 II B	子どもの権利と支援研究	2	SWS714	秋	講義	教授 森 田 明 美	社会福祉学研究指導 V B と共通
		S W 研究 III A	高齢者の福祉と支援研究	2	SWS715	春	講義	非常勤講師 和 氣 純 子	隔年開講
		S W 研究 III B	高齢者の福祉と支援研究	2	SWS716		講義		本年度休講(隔年開講)
S W 研究 IV A		権利擁護とソーシャルワーク研究	2	SWS717	春	講義	教授 高 山 直 樹	社会福祉学研究指導 VII A と共通	
S W 研究 IV B		権利擁護とソーシャルワーク研究	2	SWS718	秋	講義	教授 高 山 直 樹	社会福祉学研究指導 VII B と共通	
研究指導	社会福祉学研究指導 I A	社会福祉史研究		REG601	春		教授 金子 光 一		
	社会福祉学研究指導 I B	社会福祉史研究		REG602	秋		教授 金子 光 一		
	社会福祉学研究指導 II A	社会福祉の人権と政策研究		REG603	春		教授 秋 元 美 世		
	社会福祉学研究指導 II B	社会福祉の人権と政策研究		REG604	秋		教授 秋 元 美 世		
	社会福祉学研究指導 III A	社会福祉政策・立法研究		REG605	春		教授 伊奈川 秀 和		
	社会福祉学研究指導 III B	社会福祉政策・立法研究		REG606	秋		教授 伊奈川 秀 和		
	社会福祉学研究指導 IV A	地域福祉活動・計画研究		REG607	春		教授 加 山 弾		
	社会福祉学研究指導 IV B	地域福祉活動・計画研究		REG608	秋		教授 加 山 弾		
	社会福祉学研究指導 V A	子どもの権利と支援研究		REG609	春		教授 森 田 明 美		
	社会福祉学研究指導 V B	子どもの権利と支援研究		REG610	秋		教授 森 田 明 美		
	社会福祉学研究指導 VI A	ソーシャルワーク研究		REG611	春		教授 志 村 健 一		
	社会福祉学研究指導 VI B	ソーシャルワーク研究		REG612	秋		教授 志 村 健 一		
	社会福祉学研究指導 VII A	権利擁護とソーシャルワークの研究		REG713	春		教授 高 山 直 樹		
	社会福祉学研究指導 VII B	権利擁護とソーシャルワークの研究		REG714	秋		教授 高 山 直 樹		

修了に必要な単位等

主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目(主指導教授1名(必須)・副指導教授2名(任意))を上限として、履修・修得することができる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を履修することができる。